Creative Enzymes®

ヒト由来ジペプチジルペプチダーゼVII、再組換え

Cat. No. NATE-0206

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	DPP7は、G(0)におけるリンパ球と線維芽細胞の維持に不可欠です。DPP7の阻害はアポトーシスを引き起こし、これはc-Mycとp53の誘導によって媒介されます。DPP7はプロリルカルボキシペプチダーゼと強い配列相同性を持ち、酸性および中性pHの両方で活性を示します。
用途	ジペプチジルペプチダーゼVII（DPP7）、別名DPP2または静止細胞プロリンジペプチダーゼは、静止リンパ球に発現するプロリン切断アミノペプチダーゼです。DPP7は細胞の静止状態の調節を研究するために使用されます。DPP4と同□に、DPP7は糖尿病や血管疾患の研究に役立つ可能性があります。
別名	EC 3.4.14.-; DPP7; 静止細胞プロリンジペプチダーゼ; ジペプチジルペプチダーゼVII; DPP VII

製品情報

種	人間
由来	Sf9細胞
形態	25 mM Tris-HCl、pH 8.0、130 mM NaCl、0.05% Tween-20、10% グリセロールの溶液として供給されます。
EC番号	EC 3.4.14.-
分子量	89.1 kDa
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 7.4の条件下で1分あたり1.0ピコモルのAla-Pro-AMCを加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−70°C